

特集

ようこそ！

みんなでつくるステージへ

—カノラホールでの市民参加事業—



今

年、開館30周年を迎えたカノラホールでは、これまでさまざまな市民参加事業を行ってきました。地域で文化芸術に関わる人材を育成し、地域の文化を発信する取り組みでもあります。

9月28日・29日には、30周年を記念したオリジナルミュージカル「ONLY ONE」が上演されました。また、11月には市民主体の実行委員会主催で記念コンサートが開催されます。市民のみなさんでつくり、出演する舞台。今月は、この2つのプロジェクトにスポットライトをあてます！

30周年記念ミュージカル「ONLY ONE」

オリジナルミュージカル

カノラホールでは30周年を迎えるにあたり、大人だけでなく子どもを含めた多様な世代が参加できる企画として、ミュージカルを制作。オペラ「御柱」、武井武雄の世界を歌おう「地上の祭」演奏会」に続く、オリジナル委嘱作品第3弾です。

脚本・演出は、さまざまな舞台上で活躍する俳優の灰野優子さん、作曲・編曲はミュージカルやゲーム音楽などの作曲を手がけている中山博之さん。

キャストは市民のみなさん

キャストは公募し、岡谷市や周辺地域から40人が集まりました。小学2年生から50代と年齢層は幅広く、舞台経験のない人がほとんどです。

昨年9月から、歌、ダンス、演技などのワークショップで「みんなで考えること」や「自分を表現すること」にチャレンジ。それぞれの個性が、後に役柄や曲に反映されていくこともありました。今年1月ごろには配役が決まり、灰野さんの熱心な指導のもと稽古を重ねました。通常の



ONLY ONE

稽古だけでなく、自主的に集まって練習することもありましたし、7月からは毎週末、稽古に励みました。これは、異なる世代のキャストたちが、ともに助け合い、ともに育つ場になっていく過程でもあったのです。

「ONLY ONE」の世界

ヒーローになりたい少年、SNSに依存する女子高生、笑うことを忘れたピエロ、花婿に逃げられた花嫁。不思議な「扉」の向こう側にある「何か」を求めて、ともに手を取りあつてさまざまな困難に立ち向かう。「ONLY ONE」は、さまざまな出会いのなかで、本来の自分、新たな自分にも出会い、一人ひとりがかけがえないオンラインワンの存在だと気づいていく物語。たくさんの個性豊かなキャラクターが登場し、ワクワクする歌や心にしみる歌、華やかなダンスが繰り広げられます。

公演は、同じ役を1日目と2日目で違う人が演じる「ダブルキャスト」で上演。それぞれのキャストが醸し出す味わいで、両日ともに見ごたえのある舞台となりました。

観客と一体となった公演

上演が始まると、作曲の中山博之さん(ピアノ)と地元出身の音楽家を中心としたバンドのすばらしい生演奏に誘われ、キャストの堂々とした演技にどんどん引き込まれます。コミカルな場面では笑いが起き、切々とキャストが語るシーンでは涙ぐむ人も…。満席の観客から拍手喝さいが送られ「ONLY ONE」はフィナーレを迎えました。

「ONLY ONE」公演がシルキーチャンネルで放映されます。もう一度観たい人、見逃してしまった人も必見!

●11月1日(金)～15日(金)

午前10時～午後3時・7時

●11月16日(土)～30日(土) 午後8時10分

※前半・後半とも1日目・2日目を日替わりで放送



稽古場風景



館長から
ひとこと！



カノラホール(岡谷市文化会館)
館長 橋爪 哲也さん

育まれた「市民参加」の土壌

開館30周年を迎えたカノラホールでは、これまで多くの市民のみなさんに参加していただき、多数の自主事業を実施してきました。各作品の稽古や公演を通して参加者のみなさんは貴重な体験をされ、また、観客のみなさんも感動を共有してくださったと思います。

それらの積み重ねが、その後の活動のなかに息づき、地域の文化振興につながってきました。こうして育まれた文化的土壌があり、「ONLY ONE」が生まれました。

個性を活かし可能性に挑戦

「ONLY ONE」は、キャストのみなさんが、それぞれの個性を活かし可能性に挑戦されてきた「オンリーワン」の集大成でもあります。30周年の節目に、市民のみなさんとともにすばらしい取り組みができました。

今回の経験が、キャストのみなさんのさまざまな活動のなかで活かされることを心より願っています。当館としても、培ってきた絆を大切に、地域の芸術文化の発展に努めていければと考えています。

ONLY ONE

本番のみんなのパワーに感動

ミュージカルには、役として感情を入れながら、セリフをしゃべるように歌って踊る、という難しさがあります。直前までみんな苦戦していましたが、本番では、それぞれの役として舞台の上で生きて、歌って踊っていました。わたしが想像できなかったようなパワーを、みんなが出せていたことに感動しました。

新たな自分の扉をあけて

キャストのみなさんは年代の幅が広く、モチベーションもさまざまでしたが、やっていくうちに見る方向が同じになり、一人ひとりが「自分は何をするべきなのか」を考えられるようになりました。

初めてミュージカルというものにふれて、いつもと違う自分、今まで見えていなかった自分に気づき、出会えたのではないのでしょうか。それが市民ミュージカルの良いところで、これからもチャレンジする気持ちで扉を開けていってもらえればと思います。

それぞれのやり方で、舞台に立つという最終地点にたどり着いてくれたこの日々は本当にかげがえのないもので、みんなに教えてもらったこともたくさんありました。みんなに「ありがとう」と伝えたいです。

脚本・演出家
から
ひとこと！



「ONLY ONE」脚本・演出
灰野 優子さん

【プロフィール】

ミュージカル劇団「Steps」の研究所を経て、俳優、シンガーとして多くの舞台・ショーに出演。脚本・演出など、制作側としての活動も展開している。カノラホールでは、2018年「こどものためのコンサート」などで脚本・構成・司会・歌を担当した。



9月29日キャストのみなさん



9月28日キャストのみなさん

ONLY ONE

キャストからひとこと!



平林 脩斗さん

9月29日キャスト 大城 遯歩役

本番は、自分的には、できたかなと思います。この1年はセリフや歌が多いので大変だったけど、観てくれる人のために、しっかりやろうと思いました。人とふれあうのがあまり得意じゃなかったけど、だんだん慣れて、みんなで話すのが楽しくなりました。歌って踊るのは、またやってみたいと思っています。



松尾 紳芭さん

9月28日キャスト 大城 遯歩役

曲が終わって拍手をもらったとき、すごくうれしかったです。歌の練習では、中低音はよく出るけど、高い音を出すときに大変でした。みんなで話しながら、ご飯を食べるときが楽しかったです。お芝居や歌は、またやってみたいです。

最後に暗転になったとき、1年間の練習をがんばってきただけがあふれて、涙がこみ上げてきました。高校のころ演劇をやっていた、ミュージカルはやったことがなかったんですが、新聞でキャスト公募の記事を見て気になっていて…。迷ったんですが、親子と一緒に舞台上に立てたらステキだねって、娘を誘って参加することにしました。高校で演劇をやっていたときの、みんながひとつのものをくり上げる感動と達成感が、すごく良い思い出だったので、地元でこういう活動があると、それがまた体験できて、とてもステキだなと思います。

親子で参加

石原 愛さん

9月28日キャスト 多賀野 直子役

石原 莉子さん

9月28日キャスト カノラ(幸運の猫)役



カノラホール30周年記念コンサート

コラボレーション、斬新な演出…民の力で作り上げるコンサート

30周年を記念して諏訪地域の有志のみなさんが実行委員会を立ち上げ、コンサートを企画しました。会長の中田さんに、その思いをお聞きしました。



カノラホール30周年記念
コンサート実行委員会
会長 中田 富雄さん

なぜこのコンサートを企画したのですか？

わたしは、30年前の、カノラホールを立ち上げる仕事に携わりました。そのときに、「文化」というものは、お金も時間もかかるということを感じて、利用している人がひと世代・ふた世代変わるぐらいでやっとなし文化が定着して、当たり前前に受け入れられるだろうという思いで、スタートを切りました。あれから30年が経ちましたが、時代の変化や景気の影響などで、なかなか思い通りにいかないことが30年分積み上がってきた。でも一生懸命みんなが作り上げてやってきたんです。そういう意味では、カノラホールの30周年なんだけれども、行政がやるのではなくて、周りの市民を中心とした民間の力で、ご支援やご理解をいただきながら作り上げていく。

それも地元で、やる方も見る方も、すべて民の力で作り上げるということ、ひとつのきっかけとしてみんなを考えて、ここから新たなスタートを切って行こうという思いです。

いつごろから準備を始めましたか？

以前から岡谷市内の音楽好きな仲間、「カノラホールのためになにかしたいよね」という話はあったんです。それで2年前に、2019年に30周年になると聞いたので、メンバーに諏訪出身の大陸さんがいるTSUKEMENさんと、30周年のお祝い、地域としてもちようどいいんじゃないかというところで、うまくピタッと合ったんですね。

コンサートの見どころは？

ひとつは、地元のカノラ青少年合唱団とカノラオーケストラの存在です。カノラホールで生まれ、カノラホールで育った、そんなみなさんとTSUKEMENさんとのコラボがなんと見どころです。また、新たな試みとして、単なる照明やビデオメッセージなどを流すだけでなく、もう少し進んで、映像にCG加工などを取り入れた見て楽しめる動きのあるものに仕上げたいと思っています。しか

もそれを、地元の人がみんなで力を合わせて作り上げていくというところに、結果を見出ししていきたいですね。

これからのカノラホールに期待することは？

これまでの30年よりも、これからのほうがはるかに大切だと思います。カノラホールは、カノラ青少年合唱団やカノラオーケストラのように、「自分たちで作り上げていく」という信念でやってきているので、それをどうやってつなぎ、伸ばしていけるかというのは、難しいですが大切なことだと思っています。そして、岡谷だけでなく、諏訪全体での位置づけのなかで伸びて行ってくれたらいいなと思います。



実行委員会のみなさん



カノラホール30周年記念 Special Collaboration Concert with TSUKEMEN

発売中

カノラ青少年合唱団
カノラオーケストラ
歌い人ごんべ

11月17日(日) 開場：午後3時 開演：午後4時

観て、聴いて、感じる、新しい演出のスペシャルコンサート

ゲストのTSUKEMENさんと地元共演者との、ふるさと諏訪の魅力たっぷりなコラボレーション。映像技術を駆使した斬新な演出。ここでしか見られないスペシャルコンサートをお楽しみください！

【チケット】 全席自由 一般前売り券 4,500円(当日券 5,000円) / 高校生以下 2,000円
※チケット取り扱いプレイガイドなど、詳しくはこちらのチラシから→

問合せ…カノラホール30周年記念コンサート実行委員会事務局
☎090-2669-1121 (林・中田)

この活動は長野県元気づくり支援金と企業協賛金等で行われています。



これまでのカノラホール市民参加事業

「第九」演奏会を始め、「メサイア」演奏会、「オペラ」御柱（初演と3回の再演）、武井武雄作品と「コラボレーション」した合唱組曲「地上の祭」演奏会など、カノラホールでは数々の市民参加事業を実施してきました。オペラ「御柱」と「地上の祭」演奏会にはオリジナル制作作品です。合唱パートを担当したり、衣裳や舞台セットの製作に関わったりして、多くの市民のみなさんが創造的に作品づくりに携わっています。



合唱組曲「地上の祭」演奏会（平成25年11月）



開館記念「第九」演奏会（平成元年11月）



オペラ「御柱」（平成28年11月）



「メサイア」演奏会（平成8年12月）

まだまだあります! カノラホール開館30周年記念事業

珠玉の音楽にふれられる機会。ぜひお越しください。

1月10日(金) 午後7時～
大ホール
ウィーン・サロン・オーケストラ
ニューイヤー・コンサート



1月19日(日) 午後3時30分～
大ホール
航空自衛隊 航空中央音楽隊
※入場無料(要整理券)



2月29日(土) 午後2時～
小ホール
カノラ・ウィークエンド・コンサート Vol.2
尺八&箏 和楽器の競演



11月24日(日) 午後2時開演



カノラ少年少女合唱団定期演奏会

毎年恒例のカノラ少年少女合唱団定期演奏会がやってきました! 令和初となる今回の演奏会は3部構成。第2ステージでは、カノラ少年少女合唱団が代々歌い継いできた大切な曲・だれもが知っている曲を歌います。第3ステージは「おおシャンゼリゼ」「ハレルヤ」など、世界中の歌を歌います。ぜひご家族でおこしください!

【予定楽曲】

「グッデー グッバイ」「真っ赤な太陽」
「夢をあきらめないで」「花」「おおシャンゼリゼ」
「ハレルヤ」「ラデツキー行進曲」ほか

【主催】カノラ少年少女合唱団

カノラホール ((公財)おかや文化振興事業団)

【時間】午後1時30分開場 午後2時開演 【会場】大ホール

【チケット】全席自由 500円(3歳から有料)

申込み・問合せ●カノラホール ☎24-1300・FAX 24-1412

発売中